

【大会 1 日目】

大会プログラム

シンポジウム				ポスター発表
186 教室	182 教室	183 教室	382, 383 教室	282・283・384
10:30-12:30				9:00 ポスター貼付
				9:30~10:30 ポスター発表（午前）
【A1】 ゲームによるインターローカリティのデザイン—コミュニティの越境・横断と対話の場の創出— （企画者：石田喜美, 岡部大介）	【A2】 多様なナラティブ・データ分析手法の可能性を問う —質的心理学と文学・文体論との邂逅— （企画者：保坂裕子）	【A3】 からだやことばで「表現されること」・「表現されないこと」とそれらの受けとめや解釈について考える （企画者：河原智江, 西村ユミ）		12:00 ポスター撤去
13:30-15:30				13:00 ポスター貼付
【B1】 編集委員会企画「身体を見る・身体に触れる・身体を感じる」 （企画者：好井裕明, 宮内洋）	【B2】 当事者とその周囲の関係性をこわし・つくる 精神科デイケア通所者、トランスジェンダー者、自閉症スペクトラム者の妻から （企画者：町田奈緒子）	【B3】 医療、介護領域の職種間連携のアクションリサーチ。—リフレティング・プロセスの導入の試み— （企画者：清田敦彦）	【A1】 383教室 カードゲーム解説 公開時間 13:30~17:00	14:30~15:30 ポスター発表（午後）
15:45-17:45				
【C1】 フォーラム編集委員企画、「立場を異にする者同士のかかわりの質的研究」（企画者：平本毅, 谷美奈, 川島理恵）	【C2】 当事者と倫理と研究者：医療分野における質的研究の貢献 （企画者：福田茉莉）	【C3】 人生 100 年時代のキャリアデザイン （企画者：豊田香）	【C4】 382 教室 「治癒せざるものの治療のために」—病い経験を捉える新しい概念生成に向けて （企画者：坂井志織）	17:00 ポスター撤去
懇親会@ 食堂 18:00~20:00				

【大会 2 日目】

シンポジウム				
講堂	182 教室	382 教室	383 教室	384 教室
9:00 開場 9:30~12:00				
大会メイン企画 対談「からだ と ことば」 谷川俊太郎, 細馬宏通 対談	182 or183 中継会場			
12:30~13:30				
総会				
14:00~16:00				
大会企画シンポジウム 質的研究評価基準への展望— 「Sage 質的研究キット」と APA における議論を手がかりに— (能智正博, 鈴木聡志, 大橋靖史, 柴山真琴, 上淵寿, 永田素彦)	【D1】 研究交流委員会企画 質的心理学は「越境する知」たり えるか:理論という視点から考え る (企画者:東村知子, 宮本匠)	【D2】 ライフストーリーの映像化 ~ビジ ュアル・ナラティブとしてのメモリア ル・アニメーションの可能性~ (企画者:家島明彦)	【D3】 「TEM で広がる社会実装」の 可能性 (企画者:豊田香)	【D4】 ブルーナー文化心理学の射 程:フォークサイコロジーと行為 理解に係る「規範」の問題 (企画者:横山草介)